

高尾警察署に着任して

高尾警察署 署長 松山 政司



令和5年8月28日付けで、警務部健康管理本部から着任しました松山と申します。

出身は、北海道札幌市で自然豊かな土地で大らかに育ちました。どうぞよろしくお願いいたします。

高尾交通安全協会の皆様、高尾警察署管内にお住まいの皆様におかれましては、平素より交通安全活動はもとより警察行政各般にわたりご支援、ご協力を賜り、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

高尾管内の思い出としましては、警視庁入庁直後に昭和天皇崩御に伴う武蔵野陵での長期間に及ぶ厳しい警備に従事しましたが、毎日夜になると住民の方がポットに入れた紅茶を差し入れてくれるなどの優しさに触れたり、捜査実習で恐喝犯人を高尾駅前で逮捕したりと警察官の駆け出しの頃を思い出します。また、前々任は、新宿区、中野区、杉並区を管轄する第四方面交通機動隊長として六十数名の白バイ隊員を指揮し、交通の指導取締りに当たっておりました。

さて、本年、当署管内において残念なことに、新年早々2年8ヶ月間発生を見なかった交通死亡事故が発生してしまいました。高齢者と自家用普通自動車の事故で、亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、この様な痛ましい事故を二度と発生させないようにと誓ったところであります。

高尾署管内における昨年の交通事故状況ではありますが、人身事故発生件数は474件、負傷者は514名であり、物件事件数は2,462件と、一昨年に比べ、人身事故発生件数は61件、負傷者は84名、物件事件数は100件といずれも増加しております。

また、当署管内の交通事故の特徴として、単独事故を含め自転車の関与する交通事故が約4割と高い水準であります。全庁的にも自転車の交通事故関与率も増加し、電動キックボードといった新たなモビリティの出現と相まって、交通ルール違反が社会問題となり、自転車の交通ルールの徹底を図るため、信号無視、一時不停止、右側通行、歩道通行などの違反に対して厳しく取締りを始めるとともに、自転車利用者の交通死亡事故防止のため、昨年4月から自転車乗車時におけるヘルメットの着用が努力義務化されました。皆様にもありまして自転車の交通ルールの遵守とヘルメット着用のご協力をお願いいたします。その他に、当署管内は、子供が関与する交通事故が全庁でワースト上位に位置しているなど、早急に対策を講じる必要があり、今後、工夫を凝らした交通安全教育を推進していく所存です。「世界一の交通安全都市 TOKYO を目指して」の実現に向け、高尾署から発信していきたいと思っておりますので、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、皆様方とご家族のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



令和5年12月12日(火)

高尾警察署において、秋の全国交通安全運動に伴う表彰式が行われました。受賞された皆様おめでとうございます。